

線形代数及び演習 II 演習プリント No.7 (2019.11.18)

1. U, V を \mathbb{R} 上のベクトル空間とする. U から V への写像 T が線形 (1次) 写像である定義を述べなさい.
2. 任意の $m \times n$ 行列 A に対してベクトル空間 \mathbb{R}^n から \mathbb{R}^m への写像 T_A を $T_A(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ ($\mathbf{x} \in \mathbb{R}^n$) で定義する. T_A は線形写像になっていることを確かめなさい.
3. \mathbb{R}^n から \mathbb{R}^m への線形写像 T は適当な $m \times n$ 行列 A によって $T(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ と書けることを示しなさい.
4. $T_A(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ ($\mathbf{x} \in \mathbb{R}^n$) で定義される線形写像を考える. 像 $\text{Im}(T_A)$ は \mathbb{R}^m の部分空間で, 一方, 核 $\text{Ker}(T_A)$ は \mathbb{R}^n の部分空間であることを示しなさい.
5. 次の行列 A に対して線形写像 $T_A(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ を考えたとき, その像の次元と核の次元を求めなさい.

$$(1) A = \begin{pmatrix} 2 & 4 & 3 & 1 \\ 1 & 2 & 2 & 1 \\ 1 & 2 & 1 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(2) A = \begin{pmatrix} 1 & -2 & 1 & 0 & 0 \\ 2 & -4 & 2 & 0 & 1 \\ -2 & 4 & -2 & 0 & 2 \\ 2 & -3 & 3 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

$$(3) A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 5 & 1 & 4 \\ -1 & -2 & -5 & -1 & -4 \\ 2 & 0 & 6 & -2 & -4 \\ 1 & 0 & 3 & -1 & -2 \end{pmatrix}$$

6. 問題5のそれぞれの線形写像についてその像の基 (底) と核の基 (底) をそれぞれ求めなさい.

7. 2次元のベクトル空間 U, V とそれぞれの基を $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2\}, \{\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2\}$ とする. T を U から V への線形写像とし, $T(\mathbf{u}_1) = a\mathbf{v}_1 + b\mathbf{v}_2, T(\mathbf{u}_2) = c\mathbf{v}_1 + d\mathbf{v}_2$ とする. T の表現行列を求めなさい.

8. 次の線形変換 T の与えられた基に対する表現行列を求めなさい.

$$T(\mathbf{x}) = A\mathbf{x} : \mathbb{R}^3 \mapsto \mathbb{R}^3, \quad \mathbb{R}^3 \text{の基 } \{\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3\}$$

ただし,

$$A = \begin{pmatrix} 2 & -1 & 2 \\ 0 & -3 & 5 \\ 1 & 1 & 2 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{v}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{v}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{v}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

とする.